



マンスリー 済衆館だより

第124号  
2017.7月号

医療法人 済衆館 済衆館病院  
〒481-0004 北名古屋市長田西村前111番地  
TEL.0568-21-0811(代表)  
FAX.0568-22-7494  
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp  
http://www.saishukan.com

発行/済衆館病院広報委員会

裏面：知っていたら適切な管理ができる腎臓病のお話です/四日市の工場夜景

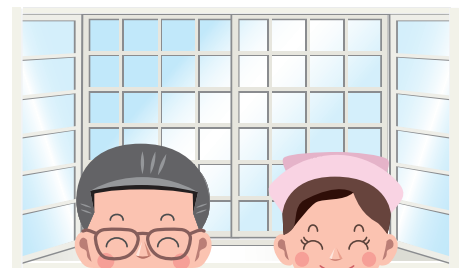
外来診療担当医表(7月)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	小池 循環器	清水 消化器	森 糖尿病・膠原病	羽賀 循環器	吉田(勝) 循環器	柳澤 呼吸器
		横崎 消化器	橋本 呼吸器	今村(重) 循環器	清水 消化器	大高 循環器	多田 第1・2・3・5(土) 腎臓
		今村(重) 循環器	小嶋 循環器	吉田(勝) 循環器	伊藤(隆) 神経	伊藤(隆) 神経	担当医
		岡田 消化器	鈴木(重雄) 消化器	横崎 消化器	小池 循環器	岡田 消化器	担当医
		森 糖尿病・膠原病	伊藤(隆) 神経	栗木 消化器	岡田 消化器	橋本 呼吸器	森 第2(土) 糖尿病・膠原病
					多田 腎臓	栗木 第4(土) 消化器	
外科	午前	川崎	今村(康)	神谷	今村(達)	今村(康)	川崎
			勝野	河合	川崎	神谷	河合
眼科	午前	五十川	五十川	五十川	五十川	五十川 第1・2(金)	五十川
	午後 受付時間	五十川 13:30~15:30		平井 13:30~15:30		五十川 13:30~15:30	
小児科	午前	植 廣田	植 廣田	廣田	植	植 廣田	植 廣田
	午後	植/廣田 15:00~16:00	植/廣田 15:00~16:00			植/廣田 15:00~16:00	
皮膚科	午前				休診		
整形外科	午前	中里	松本	三輪	三宅	中里	松本 担当医 第1・3・5(土)
		松尾(英)	河原	三宅	松尾(英)	栗本 9:30~	中川 第2・4(土)
歯科・口腔外科	午前		梅村(恵)	梅村(恵)	梅村(恵)	梅村(恵)	

専門外来

	月	火	水	木	金	土
内科	糖尿病内分泌 大屋 9:00~12:00 診察時間		糖尿病内分泌 和田 13:00~	禁煙外来 橋本 14:00~ 糖尿病・膠原病 森 12:30~		
	消化器・肝臓 栗木 13:30~15:30 診察時間	循環器 水谷(浩) 13:00~15:00	腎臓 岡本 14:00~15:30 呼吸器 柳澤(第1・3(水)) 14:00~17:00	消化器・肝臓 栗木 14:00~15:30 腎臓 多田 13:30~	糖尿病・膠原病 森 12:30~	
外科	乳腺外科 中西 9:00~10:30 小児外科 勝野 13:00~16:00 診察時間	脳神経外科 飯塚 予約制		泌尿器 遠山 14:00~15:00	乳腺外科 佐藤 14:00~16:00	脳神経・脊髄外科 担当医 第1・3(土) 9:00~11:30
	緩和ケア 秋山 13:00~16:00 内分外科 日比(ハ)(第3(月)) 15:00~16:00 診察時間		泌尿器 住友(第1・3(水)) 14:00~ 泌尿器 加藤(第2・4(水)) 14:00~	血管外科 今枝 14:00~16:00	脳神経外科 飯塚 14:00~16:00	泌尿器 木村 9:00~12:00

- ★外来は、原則として予約とさせていただきます。
  - ★受付時間 午前8:15~11:30  
午後の専門外来は診察時間の30分前からとなります。
  - ★診察時間 午前9:00~12:00
  - ★都合により担当医師が変更となる場合があります。
  - ★急患の場合はお電話ください。
- TEL.0568-21-0811(代表)  
時間外・休日にも診察致します。



健診・ドックセンター

- 人間ドック
- 企業健診

- 特定健診
- 特定保健指導

40歳から74歳の健康保険(国民健康保険、健康保険組合、全国健康保険協会、共済組合など)被扶養者(家族)の方も対象となっております。

知って  
いたら

# 適切な管理ができる腎臓病のお話です



日本の総人口の1億2691万人中、慢性腎不全患者数は1,330万人、治療を要するレベルは600万人とされ透析患者数は32万448人。検診で尿たんぱく陽性を指摘された0.5%の方のうち5~10%の方が、いづれ透析治療が必要とされています。 日本腎臓学会、日本透析医学会資料より

当院では腎不全の患者さまに対し、幅広く治療を行っていますが、腎不全のすべての方が血液透析を必要とするのではなく、血液透析を行う方はごく一部の方に限られます。それは腎不全の程度によります。そもそも、腎不全や血液透析とはどのようなものなのでしょうか。

今回は、腎不全と血液透析のお話をします。

## 腎臓って何をしているの？

腎臓はからだの排水処理場！

腎臓は血液をろ過して、からだの中にとまった老廃物や水分をおしことして体外へ追い出してくれます。すなわち、腎臓はからだの排水処理場です。それ以外にも、電解質と言われるナトリウム、カリウム、カルシウム、リンなどのミネラルのバランスを取り、正常な血圧が保たれるよう血圧の調整をおこない、貧血にならないよう血液を作る指令を出し、骨を丈夫にするビタミンDという物質を活性化して骨がもろくならないようにします。腎臓の障害が進みますと腎不全になり腎臓の機能が失われます。

## 腎不全って？

排水処理場である腎臓の働きが悪くなると尿が作られなくなり、老廃物や水分がからだに蓄積します。この状態を腎不全といいます。同時に、腎臓の機能も低下します。たとえば、電解質のバランスが崩れて、カリウムがたまり心臓に悪影響を及ぼすかもしれません。血圧が上がります。貧血にもなります。骨がもろくなるかもしれません。(骨粗鬆症・病的骨折) 腎不全からのこれらの状態は、尿毒症を引き起こします。

## 尿毒症って？

腎不全になると、たまった老廃物がからだに影響を与えます。それは、からだがかたくなる、食欲がなくなる、むくみが出る、呼吸困難になるなどの症状として現れます。この症状を尿毒症といいます。

## 治療法は？

腎不全が軽い場合は食事療法により老廃物や水分がからだにたまるのを防いだり、内服薬にて老廃物や水分を出しやすくします。また、電解質のバランスを整える薬や貧血を改善する薬を用います。しかし、排水処理場が完全に操業をストップしてしまったり、食事療法や内服薬による治療をいくら行っても、老廃物や水分をからだから出すことができません。この時に必要となるのが「血液透析」という代用の排水処理システムです。血液透析では機械のろ過装置を用いて、不要になった水分と老廃物を体から取り除き、必要な成分を体に補充します。しかし、血液透析はからだの中で24時間365日働く腎臓と違い、2-3日に1度、数時間だけからだを浄化する治療であり、大半の治療を行っていない時間帯は老廃物や水分がたまる一方です。そのため、2-3日に1度、決められた時間の治療を続けなければなりません。血液透析でどれくらい浄化を行うかは、からだの中の腎臓と違い、体外の機械での治療ですから、われわれが計算して設定を行います。また、からだに血液透析の機械をつなぐシャントと呼ばれる特殊

な血管が必要です。血液透析が必要な方はあらかじめ手術でシャントを作り身体症状の状況で透析治療が始まります。しかし、週3回3~4時間程度の透析治療だけでは腎臓機能を補うことはできません。

腎不全の方は、日々の食生活が非常に重要となってきます。具体的にはカリウムやリン、タンパク質といった栄養素を制限した「食事療法」が必要となります。腎不全になるとこれらが排泄できず、からだにたまって悪さをするため透析療法と食事療法が必要となります。食事の内容については患者さまの状態に合わせたメニューを管理栄養士がご指導いたします。

腎不全の時に起こる貧血を改善するためには、赤血球の産生を促進する薬剤(エリスロポエチン製剤)にてコントロールを行います。骨がもろくなることに対して骨に働くカルシウムの吸収に大切なビタミンD3製剤が使われます。また、血圧の上昇には降圧剤や高カリウム、高リン血症には各々の吸着剤を使用します。

## ご高齢で足腰が悪く、血液透析に通院できない方はどうすればいいでしょうか。

当院では、血液透析を行う方に限り、ご自宅まで専用車で送迎をさせていただきサービスを行っております。また、寝たきりで移動が大変な方に対しては「腹膜透析」といって、ご自身やご家族がご自宅で行う透析の方法も選択することが可能です。

軽い腎不全から血液透析が必要な方まで、様々な合併症を抱える血液透析中の方々に対して幅広く治療を行っています。治療に精通した各科の専門分野のスタッフと連携対応を行っています。透析患者さまの救急、急性期治療から回復期、長期療養までの入院対応および在宅支援まで対応しております。腎疾患を心配されている方は、まず、腎臓内科外来をお気軽に受診してください。

腎臓内科部長 多田 将士

当院、腎透析センターでは透析機器、血液ろ過透析などの新しい透析法に対応する機器を導入しています。今回は透析機器の他に血液透析患者さまの全身状態の管理を目的とする機器について当院ホームページにてご紹介いたしております。詳しくはホームページをご覧ください。

腎透析センター医長 坂川 公一



医療用体成分分析装置 インボディS10



ポータブル超音波検査装置 Vscan Dual Probe

# 四日市工場夜景

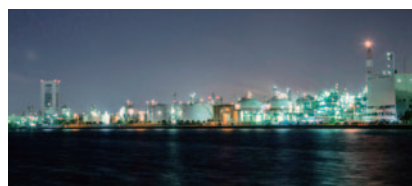
私の趣味は絶景めぐりです。最近では主人と休みが合えば、東海の絶景を巡っています。先日、四日市の工場夜景を見てきました。四日市の国道23号線を走ると、日本で初めて形成された石油コンビナート群が姿を現します。それらは、日本有数の工場地帯です。夜になるときらきらと光を帯びて素敵な工場夜景へと変化します。私たちはカメラを持って、午後5時頃に自宅を出発しました。目的地まで見晴らしのいい道路が続くドライブも楽しめました。途中、鮮やかな夕焼けがとても綺麗なので何枚もカメラに収めながら、7時半頃に夜景スポットに到着しました。最初に訪れたのは【四日市ドーム前】です。対岸に美しいプラントと、その照明が反射する水面が一緒に見られるスポットです。公園になっていて駐車場もあるので、車を降りて歩きながら工場夜景が楽しめました。次に【昭和四日市石油南】へ移動しました。こちらは河川沿いで光量の多い夜景を見ることが出来るスポットです。工場からの距離が近いので、夜景だけでなく躍動感のある工場の音も一緒に体感

できました。そして、何より天気にも恵まれ、月明かりも加わりゴージャスな夜景にとても心が踊らされました。

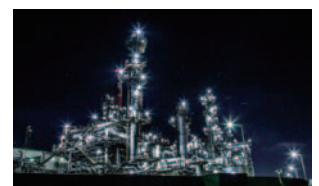
四日市夜景には美しく見える特徴があるそうです。巨大な建物が手前にないため、遮るものが少なく奥行きのある夜景が見渡せること。ほどよい距離感で建物が集まっているので、光を強く感じる事が出来ること。運河、河川、河口などを挟んでいるので、水面へ反射する夜景も一緒に見ることが出来るのだそうです。

興味のある方は、ダイヤモンドを散りばめたような非日常的な景色が堪能できる四日市工場夜景へ是非一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

臨床検査科 魚住 香織



【四日市ドーム前】



【昭和四日市石油南】

7月号の  
花木  
朝顔



ヒルガオ科サツマイモ属の一年性植物。遣唐使がその種子を薬として持ち帰ったものが初めてされており、日本では古来から親しまれてきました。世界的に見ても、これほど多種多様に变化した園芸植物は他にないと言われるほどで、その多くは江戸時代に品種改良されたものです。花言葉は「明日もさわやかに」「愛情」「平静」など。

- 7月 18日(土)~31日(日) 「夏の血液助け合い運動」月間  
全国各地で献血の理解と協力を呼びかけ、献血運動の一層の推進を図る
- 7月17日(日) 海の日 海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う
- 7月25日(火) 春夏秋冬の土用のうち、夏の土用(立秋前の約18日間)に訪れる丑の日。夏の土用の日には「う」のつく食べ物を食べるという習慣があったことから、鰻を食べる風習が広まった

## 取れなくなったラップの簡単なはがし方

ラップの端が張り付いて取れない時は、箱からラップを取り出して冷凍庫へ。5~6分後に取り出すと、簡単にはがすことができます。

※1月号より、四字熟語と一口メモを交互に掲載しています。

募集

## 看護師 ◆常勤 ◆パート

お問い合わせは  
TEL 0568-21-1615 総務課へ

## 同時募集

言語聴覚士 調理師 調理スタッフ  
ケアマネ 薬剤助手 看護助手  
総務事務 施設管理

◆読者投稿◆ ご意見・投稿の希望の方は、ハガキ又は封書にて当院広報委員会宛までお願いします。

■ 第124号 2017.7月  
■ 発行/ 済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院  
TEL.0568-21-0811 (代表)

〒481-0004 北名古屋市長西村前111番地  
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp http://www.saishukan.com  
FAX.0568-22-7494

当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。